

園長のことば

No. 12 2022年 4月

天使幼稚園園長 細井保路

入園・進級おめでとうございます。新しい一年が始まります。子どもたちにとっては、新しい環境に入っていきこともあります。今までとは違う環境を、安心して楽しく過ごせる自分の居場所だと思えるようになるためには、越えなければならないいくつかのハードルがあるかもしれません。おうちの人と離れて過ごすことや、自分のものとほかの人のものを区別しなければならないことや、先生を独り占めできないことや、子どもたちにとっては、クリアしなければならない課題が山積みです。

でも、課題を一つクリアしていくたびに、友達といっしょにいる楽しさを手に入れ、自分の中から湧き出て来るやさしさを発見し、どんな環境のなかでも集中できる力も身につけていきます。つまり、新しい環境が、子どもの成長の起爆剤になるのです。

新しい環境への移行がよりスムーズにできるためには、すで

に安定した環境に守られていることが大切です。そしてもちろん、どの子もすでに安心と安全と愛情に包まれて過ごしてきているのですから、問題はなにもありません。

ところが一つ落とし穴があるのです。それは、「うちの子は大丈夫かしら」という「お母さんの心配」です。わが子のことを心配するのは愛情のあらわれではあるのですが、お母さんの不安は子どもにも伝染します。だからお子さんには、「幼稚園に行くのだからしっかりしなければいけない」とようなプレッシャーはあまりかけないようにしてあげてください。むしろ、「大丈夫」というメッセージをたくさん送ってあげてください。

それでも子どもたちは、新しい環境になかなかなじめないこともあります。子どもたちの持ち味がみんな違うように、その理由もさまざまです。でも、何かがうまくいっていないというのは、成長の大事な過程なのです。そういうときは、お母さん自らに「大丈夫」というエールを送ってください。

保育者も新しい子どもたちとの出会いの中で、一人ひとりをしっかり受けとめ大切にしていきます。泣いたり笑ったりしながら切磋琢磨して成長していく子どもたちを。ご家庭と幼稚園というあたたかい環境の輪のなかで楽しく見守ってまいりましょう。